

□議員名：河野朋子

1 給食施設の建設について

論点	3月定例会では1センター案に問題があるということで修正可決したが、今後1センターの案を再度提案したいという考えなのか。
回答	議会の指摘について、どうしたら応えられるのか教育委員会内部で協議しているが、今後のことは決定していない。悩んでいるところである。

論点	教育委員会としては複数センターは困難であるとのことだが、それを判断したのはいつか。
回答	早期実現ということを考え、財政的な観点から複数センターは難しいと判断し、1センターを最終的に決定したのが、今年1月である。

論点	3/1 広報で、議会提案前に「給食の調理方法が決定しました」と掲載している。今回の経緯についても市民に伝える必要があるのでは。
回答	客観的な事実は「3月議会に市長が提案し議会が全面否決した。」ということである。市民はそのように受け止めている。教育委員会から、「議会への提案は無理だ」という結論になれば、市民への謝罪の文章を広報紙に載せる予定である。

論点	少しでもコストを抑えて、納得できる方法・・・例えば1つの親に2～3の子にするなど、新たな方式を再提案する考えはないのか。
回答	教育委員会としては当初から親子方式は選択肢にない。早期実現のために、1センターなら財政的に可能だということで提案しているので、他の方法は考えていない。

2 対話の日について

論点	基本計画には平成29年度に参加者を720人にとすると数値目標に掲げてあるが、1年以上開催されていない。今後の開催予定は。
回答	これまで市内地域を一巡し、市民と市長、行政との距離のよい関係を構築するという、対話の日本来の目的を達成できた。定例開催については、再度、開催方法等を含め考えるが、当面休止としている。

3 副市長の任命について

論点	副市長は市長を補佐し、市政を運営していく重要な役割であると思うが、現在は空席である。今後の予定はどうか。
回答	現在副市長を登用していないのは、来年の合併10周年記念事業に向けての儉約である。それが過ぎたら、副市長の登用を検討する。

論点	副市長を配置された期間と副市長空席の期間があるが、それぞれについて、メリットデメリットを検証したのか。
回答	置くこと置かないことの検証については、特に行っていない。

論点	10周年の事業と副市長を同格に置いて、1,000万円の支出があるから、今年度は副市長空席というのはおかしいのではないか。
回答	27年度ないし28年度は、財政的に一番厳しい局面に差しかかる。今この2,3年こそ、緊張感を持って、財布のひもをしっかりと締めなくてはならないという認識である。

論点	本当に重要なポストはきちんと配置し、組織を改革するなどして、他で節約すべきではないか。
回答	1,000万円ぐらいで副市長を儉約してどうするという事かもしれないが、せめて半分でも出してもらえれば、採用の余地が出てくる。